


コロナ社会対応ビジネスモデル創造事業補助金実績報告（公開用）

令和3年2月26日

項目	内容
事業者名	会社名：京都表具協同組合 代表者職名・氏名：理事長 田中善茂
補助事業テーマ	表装裂デジタルアーカイブ事業
事業実施期間	令和2年 10月12日 ～ 令和3年 2月22日
事業の目的	<p>① 表装裂ポジフィルムのデジタルデータ化</p> <p>② 表装オンラインシミュレーターの制作及びweb公開</p>
<p>事業の実績（成果）</p> 	<p>① 当組合の所有していた約1,300枚の表装裂ポジフィルムを高精細デジタルデータ化したものを3台のハードディスクに収録し、永久保存できるようにした。表装裂をデジタルデータ化することにより、蓄積されたデータを有意義に活用できるようになった。</p> <p>② デジタルデータ化した画像を用いてwebサイト上で掛け軸のデザイン（表装の取り合せ）ができる表装オンラインシミュレーターを完成させ、令和3年2月10日に一般公開を行った。実際に依頼を受けた本紙をスマートフォン等で撮影し、画像をオンラインシミュレーターに取り込むことも可能。現場でより実践的な利用が可能となった。できたデザインは、PDF保存が可能で、画像をお客様にメール送信することも可能。印刷することもできる。今後、お客様とのコミュニケーションツールとして充分活用できる。</p> <p>また、レスポンシブ・ウェブデザインで制作されているため、パソコン・タブレットのみならず、スマートフォンでも同様の利用が可能であるため、コミュニケーションツールとしての利便性に優れている。一般公開後、約2週間で8,000人を超える新規ユーザーからのアクセスがあり、首都圏をはじめ全国に広がっている。</p>
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンライン型共同受注事業の推進ができる 今後、さらに増えると予想されるインターネットを利用した共同受注事業に際し、オンラインシミュレーターで視覚的な提案をする。 ・ 今後の機能拡張に期待が持てる 現在は、掛け軸のみのオンラインシミュレーターであるが、機能拡張は充分可能である。私たちの他の取り扱い品目である襖や額・屏風についてもこの技術を用いることで「京表具」の魅力の再発信、新しい時代の力にしたい。 ・ 表装裂データベースとしての活用と永久保存 デジタルデータ化した表装裂全画像を整理・編集し、書籍化も行いたい。